



本事業「平成 29 年度専修学校による地域産業中核の人材養成事業」は、文部科学省より神戸山手大学に委託され実施いたしました。



Destination Manager

訪日外国人観光客 4000 万人時代に備えた
インバウンド中核人材養成事業

インバウンドを支える
観光立国学び直しプログラム

事業報告書 2017.6.1 ▶ 2018.2.28

巻 頭 言



神戸山手大学
学長 井内 善臣

目 次

はじめに	01
訪日外国人観光客4000万人時代に備えたインバウンド中核人材養成事業	02
平成28年度 実績一覧	04
平成29年度 実績一覧 ー基礎学習ー	05
平成29年度 実績一覧 ー専門学習ー	06
平成29年度 実績一覧 ー実務学習ー	07
平成29年度 実績一覧 ー就業体験ー / 受入れ先企業一覧	08
株式会社やまところ	09
平成29年度 事業実績報告	10
受講生アンケート	11
講師アンケート	12
事業報告会ー観光立国フォーラム in 神戸2017ー	14
受講生の声	15
委員会実績 / 委員一覧	16
委員の声	17
成果物一覧	18
観光甲子園 / 神戸山手大学 DMLab がスタートします	19
神戸山手大学 履修証明プログラム「ディスティネーションマネジャー養成課程」	20

はじめに

神戸山手大学は、文部科学省による平成28年度「成長分野等における中核的専門人材養成等の戦略的推進」事業（観光分野）、平成29年度「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」（観光分野）において、「訪日外国人観光客4000万人時代に備えたインバウンド中核人材養成事業」を提案・受託しました。

平成28（2016）年度は、①連携企業・団体の協力をえて、インバウンドビジネスに興味関心をもつ社会人を対象に、インバウンド人材育成プログラム「神戸山手インバウンドスクール」の実証講義を展開するとともに、②日本版DMO候補団体の考える人材ニーズとインバウンド市場をすでに取り扱う事業者が求める人材ニーズの比較調査を実施しました。

平成29（2017）年度は、これらの成果を踏まえてカリキュラムを修正し、「神戸山手インバウンドスクール」として東京と神戸の2会場で9ヶ月間、履修証明プログラムを提供しました。

平成29年度 文部科学省「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」

＞ 趣旨

柔軟な制度的特性を生かしながら産業構造の変化や各地域のニーズ等に対応した実践的な職業教育を行う専修学校の人材養成機能を充実・強化し、地域産業の発展を支える中核的な人材養成機関としての専修学校の役割の充実等を図るため、社会人向けの教育プログラムや特色ある教育カリキュラムの開発、効果的な産学連携教育の実施のためのガイドラインの作成、分野に応じた中長期的な人材育成に向けた協議体制の構築を進める。

＞ 委託事業の内容

（1）教育プログラム等の開発

実践的な職業教育を行う専修学校等の学び直し機能の向上に向け、産業界のニーズを踏まえた社会人向け講座の開設等を行う。また、高等専修学校（専修学校高等課程）等における特色ある教育を推進するためのカリキュラムの開発を行う。

- ① eラーニングの積極活用等による学び直し講座開設等
- ② 地域版学び直し教育プログラムの開発・実証
- ③ 特色ある教育推進のための教育カリキュラム等の開発・実証

（2）産学連携手法（専修学校版デュアル教育）の開発

専修学校において、これからの時代に求められるアクティブ・ラーニングの在り方を見据え、学習と実践を組み合わせる行う効果的な教育手法を開発し、学校・産業界双方のガイドラインとして作成・共有化することにより、質保証・向上を図りつつ、実効的・組織的な産学協同による教育体制を構築する。

- ① 分野特性等を踏まえたガイドラインの作成（プロジェクトA）
- ② 分野共通の産学連携教育体制の確立に向けた調査研究（プロジェクトB）

（3）産学連携体制の整備

専修学校と産業界・行政機関等を構成員とする協議会において、各分野における人材育成の在り方を検討し、各専修学校における教育内容の改編・充実に つなげるとともに、持続可能な協議体制の整備を促す。

- ① 全国版人材育成協議会の設置
- ② 地域版人材育成協議会の設置
- ③ 分野横断的な連絡調整会議の設置

訪日外国人観光客 4000 万人時代に備えた

経緯と本年度の取り組み

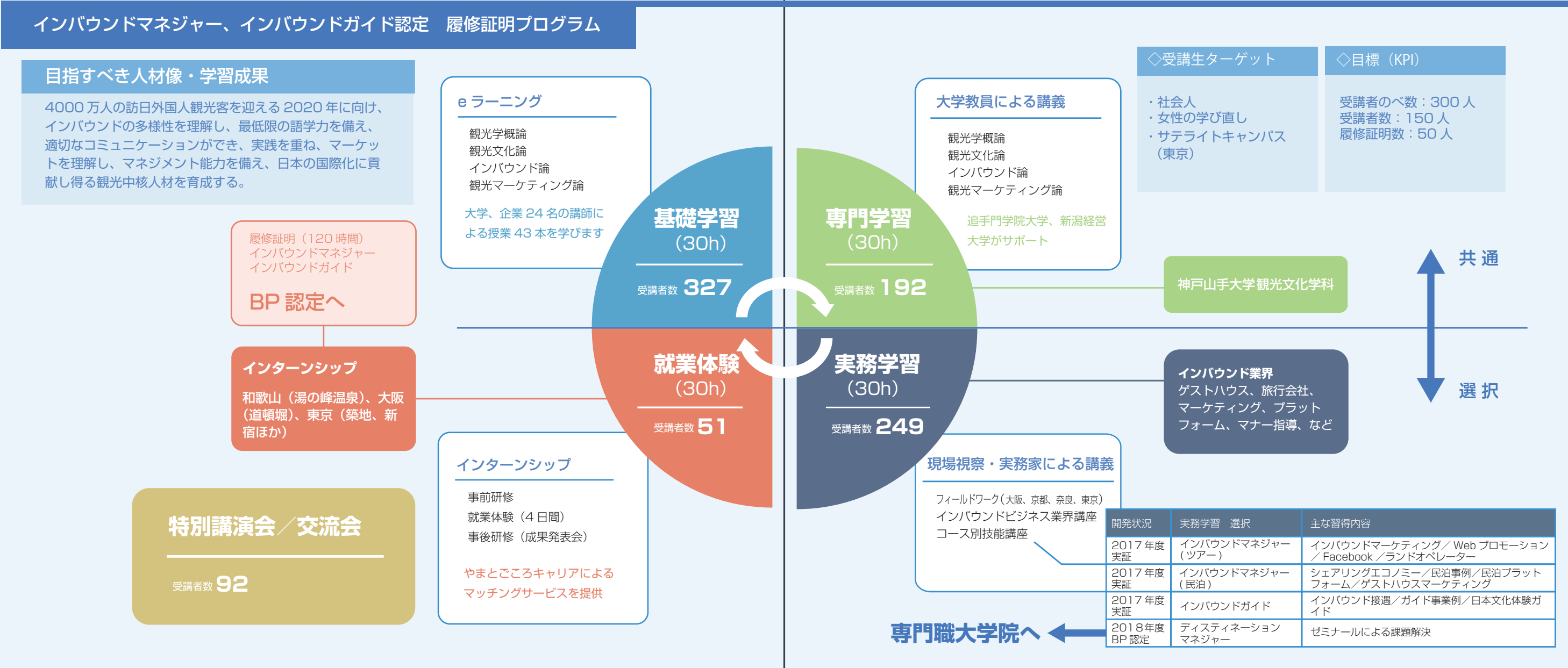
政府は新観光戦略で 2020 年に訪日観光客 4000 万人という目標を掲げました。関西では 2016 年の訪日観光客の来訪数、消費額、滞在日数が前年を上回り、物販、体験型消費も堅調で、宿泊不足が続く、宿泊・飲食・小売業の人材不足の解消は依然喫緊の課題です。前年の調査から、企業やDMOがマネジャーも求めていることも分かりました。そこで本事業では、初年度の実績を踏まえて、実務経験を備えた即戦力となる観光中核人材として①インバウンドマネジャー（マーケティング実務を重視）、②インバウンドガイド（国際理解・コミュニケーションを重視）の養成を目的にスタートしました。

平成 28 年度、29 年度の 2 年間の目標は受講者 500 人、修了者 300 人、就労者（キャリアアップ、キャリア転換含む）100 人。関連団体や企業と連携して教育プログラムを開発・検証し、受講生を募集し、修得知識やスキルを実践するインターンを組んだ履修証明プログラムとして、受講生と企業、DMOの適性をふまえた人材マッチングの支援も行い、インターン先や就職先での評価・検証を行いました。インバウンド市場を担う人材を育成・輩出することで地方創生にも貢献します。

インバウンド中核人材養成事業

特別講演会／中間報告会

2017 年 12 月 4 日、神戸山手大学 3 号館にて特別講演会・中間報告会を開催しました。観光庁の太田雄也氏による業法改正解説の特別講演、本事業の中間報告、ゲスト（村山慶輔氏（（株）やまどころ）、村山力氏（神戸・元町インバウンド協議会）、江藤誠晃氏（（株）BUZZPORT））のショー トスピーチを行いました。会場へは 92 名の方にご参加いただきました。



平成 28 年度実績一覧

平成 28 年度、神戸山手インバウンドスクールは延受講者数 855 名、KPI 達成率は 342.2%に達しました。

神戸・大阪での開講に加え、サテライト講義として全国 6 箇所(東京、鳥取、和歌山、兵庫（南淡路、姫路、長野）で実施しました。

目標受講者数（延べ人数）	250 人
実際の受講者（延べ人数）	855 人
KPI 達成率	342.2%

講座開講実績

科目別受講者述べ人数

1. インバウンド論		基礎 1	基礎 2	基礎 3	基礎 4
個人 計	112	30	32	26	24
団体(サテライト) 計	370	233	43	45	49
2. フィールドワーク		京都	大阪		
計	31	14	17		
3. 語学		日本語	英語	中国語	
計	119	開講なし	68	51	
4. 企業連携		接遇	ビジネス	Webマーケティング	
計	71	14	25	32	
5. スキル		リーダー	民泊	カルチャー	
計	152	開講なし	118	34	
合計(人)	855				

団体（サテライト）	370	神戸（26 講座）	284
個人	485	大阪（16 講座）	170

※外国人留学生を対象にした日本語コース サービスリーダーコースは受講者申し込みがなく、催行中止となりました。

平成 29 年度 実績一覧 — 基礎学習 —

e ラーニングでインバウンドの基礎を学ぶ

インバウンドの基礎知識から最新の SNS での集客方法まで各分野の専門家による映像教材で学びます。1 本約 15 分程の内容で、関心のあるテーマを自由な時間、自分のペースで学習することが可能です。遠方でセミナーに参加できない方からの反響もいただきました。

講義名	時限	授業内容	e ラーニング	
①観光学概論	1	観光産業の新しい動き	インバウンド観光とは（講師：小野田金司／神戸山手大学） インバウンド観光のトレンド（講師：小野田金司／神戸山手大学）	
	2	拡大する観光業界と求められる人材	インバウンド業界 人材育成の必要性 1（講師：小槻文洋／神戸山手大学） インバウンド業界 人材育成の必要性 2（講師：小槻文洋／神戸山手大学）	
	3	観光地域づくりプラットフォーム、DMO	インバウンド人材育成と地方創生（講師：伊藤健二／明治学院大学）	
②観光文化論	1	ハラルツーリズム	イスラーム教徒インバウンドハラル・ツーリズム／ムスリム・フレンドリー・ツーリズム（講師：小磯学／神戸山手大学）	
	2	神戸の観光文化	みなとまち観光論Ⅱ 神戸・北野町の宗教施設～そのディープな魅力を探る（講師：小磯学／神戸山手大学） みなとまち観光論Ⅲ 神戸・灘の酒造業～時代の変化を乗り越えてきた伝統産業～（講師：小槻文洋／神戸山手大学）	
	3	世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」のインバウンド	和歌山県田辺市本宮町のインバウンド観光振興（講師：大島 知典／立命館大学） 高野山インバウンド観光の現状（講師：原一樹／神戸山手大学）	
	4	サンティアゴ巡礼道の観光システム	事例 サンティアゴの巡礼道の観光システム（講師：小野田金司／神戸山手大学）	
	5	アートと観光	みなとまち観光論Ⅰ 神戸とファッション 洋装文化を通じて見る神戸の近代（講師：伊多波宗周／神戸山手大学）	
③インバウンド論	1	観光立国ニッポン	観光立国日本（講師：小野田金司／神戸山手大学）	
	2	ショッピングツーリズム	ショッピングツーリズムとは（講師：一般社団法人ジャパンショッピングツーリズム／新津研一） インバウンド観光外客免税制度改正（講師：小野田金司／神戸山手大学）	
	3	インバウンドと地方創生	スノーリゾートのインバウンド戦略（講師：西村典芳／神戸山手大学） 事例紹介 ジャパンエキスポ南紀熊野体験博（講師：小野田金司／神戸山手大学） スポーツツーリズムで地域活性化（講師：西村典芳／神戸山手大学） ヘルスツーリズムで地域活性化（講師：西村典芳／神戸山手大学）	
	4	インバウンドビジネス	インバウンド概論：前編（講師：村山慶輔／株式会社やまところ） インバウンド概論：後編（講師：村山慶輔／株式会社やまところ） 神戸国際観光コンベンション協会の MICE 取組概要（講師：渡邊光／神戸国際観光コンベンション協会） 六甲山におけるインバウンド誘致について（講師：小林智美／六甲山観光株式会社） インバウンド宿泊事業例ーカオサンの場合ー（カオサン東京ゲストハウス／山戸恵利加）	
	(5)	外国人が求める日本のサービス事例	インバウンド接遇（講師：藤沢礼子／株式会社トゥルース） これからの民泊ビジネスについて（講師：三口聡之介／株式会社百戦錬磨） 観光におけるデジタルマーケティングの重要性（講師：西林祥平／トリップアドバイザー株式会社） 大阪・道頓堀 インバウンド NOW（講師：オダギリサトシ／株式会社インブリージョン） 大阪・道頓堀 インバウンドガイドの心得（講師：オダギリサトシ／株式会社インブリージョン）	
	1	観光マーケティング	観光マーケティングの基礎（講師：森山正／神戸山手大学） 観光マーケティング論 地域と顧客の絆をつくろう（講師：小野田金司／神戸山手大学） 観光マーケティング論 地域の魅力を世界に発信（講師：小野田金司／神戸山手大学） インバウンド観光における We b 基礎（講師：小野田金司／神戸山手大学） インバウンドの ICT 活用とビッグデータの活用（横浜商科大学／細江哲志） 来日前からの SNS を活用したインバウンド情報発信・コミュニケーション戦略（講師：道越 万由子／式会社 BEYOND）	
	2	顧客の戦略性	旅行者行動論 1（講師：田中祥司／神戸山手大学） 旅行者行動論 2（講師：田中祥司／神戸山手大学）	
	3	顧客満足と NPS	レベニュー・マネジメント①（講師：大島 知典／立命館大学） レベニュー・マネジメント②（講師：大島 知典／立命館大学） 着地型商品の企画造成（講師：富澤美津男／株式会社ディー・ゲート）	
	4	観光人材のマネジメント	観光教育の新展開 全国高等学校観光選手権大会で高校生のアイデアを形にする（講師：小槻文洋／神戸山手大学）	
	5	事例・USJ のマーケティング	テーマパーク（USJ）のマーケティング事例（講師：森山正／神戸山手大学） ゲストハウスについて（FUJITAYA Kyoto の事例）（講師：藤田 勝光／FUJITAYA Kyoto（株）Feel Japan）	
			受講者数	327

平成 29 年度 実績一覧 ー専門学習ー

大学教員より基盤となる観光学を学ぶ

「専門学習」では、観光学を専門とする大学教員よりインバウンド業務取扱者に必要な観光学の知識（観光学概論、観光文化論、インバウンド論、観光マーケティング）を事例と共に学びます。会場での学びに加え、復習・補講用として、在宅受講が可能なインターネットで収録動画配信も行いました。学習時間は、1 時限 90 分、全 30 時間となり、神戸・大阪で各 4 日間開講しました。



	時限	神戸会場				東京会場				
		開催日	授業内容	講師	受講者数	開催日	授業内容	講師	受講者数	
①観光学概論	1	9/23 (土)	観光産業の新しい動き	小畑博正	17	9/9 (土)	観光産業の新しい動き	小畑博正	25	
	2		多様化するツーリズム				多様化するツーリズム			
	3		業法改正解説	岡本義温			観光立国ニッポン	小野田金司		
	4		拡大する観光業界と求められる人材	福本賢太			拡大する観光業界と求められる人材			
	5		観光地域づくりプラットフォーム、DMO	近藤政幸			観光地域づくりプラットフォーム、DMO			
②観光文化論	1	8/19 (土)	ハラールツーリズム	小磯学	16	9/23 (土)	ハラールツーリズム	小磯学	33	
	2		神戸の観光文化				神戸の観光文化			
	3		世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」のインバウンド	大島知典			世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」のインバウンド	大島知典		
	4		サンティアゴ巡礼道の観光システム	小野田金司			サンティアゴ巡礼道の観光システム			小野田金司
	5		アートと観光				観光マーケティング論			
③インバウンド論	1	8/26 (土)	観光立国ニッポン	小野田金司	17	9/16 (土)	ショッピングツーリズム	小野田金司	34	
	2		ショッピングツーリズム				インバウンドと地方創生			
	3		インバウンドと地方創生				インバウンドビジネス			外国人が求める日本のサービス事例
	4		インバウンドビジネス				外国人が求める日本のサービス事例			
	5		外国人が求める日本のサービス事例				アートと観光			
④観光マーケティング論	1	9/2 (土)	観光マーケティング	森山正	18	9/30 (土)	顧客の戦略性	森山正	32	
	2		顧客の戦略性				顧客満足と NPS			
	3		顧客満足と NPS				観光人材のマネジメント			
	4		観光人材のマネジメント				事例・USJ のマーケティング			
	5		事例・USJ のマーケティング				業法改正解説（観光庁）	太田雄也 氏		
					68	124				

平成 29 年度 実績一覧 ー実務学習ー

最前線のインバウンド現場調査とコース別講座で学ぶ

「実務学習」では、実務家の指導のもと、インバウンド先進事例を現場で学ぶフィールドワーク、またコース別技能講座でより専門的な知識・技能を身に着けます。コースには「インバウンドマネジャー（ツアー・民泊）」「インバウンドガイド」コースに分かれています。会場での学びに加え、復習・補講用として、在宅受講が可能なインターネットでの収録動画配信も行いました。学習時間は、1 時限 90 分～120 分、全 30 時間となり、神戸・大阪で各 5 日間開講しました。



		時限	授業内容	神戸会場			東京会場				
				開催日	講師	受講者数	開催日	講師	受講者数		
フィールドワーク		1	先進地事例 1	9/9 (土)	FUJITAYA（京都） または インブリージョン（大阪）	14	10/7 (土)	やまところ／ ノットワールド	15		
		2	先進地事例 2	9/16 (土)	梅守本店（奈良） または インブリージョン（大阪）	12	10/14 (土)	やまところ／ BOJ	29		
インバウンド ビジネス 業界入門		1	旅行業界 （地域が主体となる着地型観光ビジネス）	9/30 (土)	KNT- CT ホールディングス	21	10/21 (土)	KNT- CT ホールディングス	24		
		2	宿泊業界（MICE ビジネス入門）		hotel & MICE			hotel & MICE			
		3	飲食業界		インテージ			インテージ			
		4	小売業界		ジャパンショッピング ツーリズム協会			ジャパンショッピング ツーリズム協会			
		5	古民家再生事業事例		有鄰			ちいおりアライアンス			
コース別 技能講座	①インバウンド マネジャー コース〈ツアー〉	1	インバウンドマーケティング	10/7 (土)	やまところ	22	10/28 (土)	やまところ	28		
		2	Web プロモーション		地球の歩き方 T&E			エクスポート・ジャパン			
		3	facebook 集客		BEYOND			BEYOND			
		4	ランドオペレーター		アンカーリングジャパン			ティ・エ・エス			
	②インバウンド マネジャー コース〈民泊〉	1	シェアリングエコノミー	10/14 (土)	パソナ	17	11/4 (土)	パソナ	20		
		2	民泊事例		パソナ			パソナ			
		3	民泊プラットフォーム		百戦錬磨			百戦錬磨			
		4	ゲストハウスマーケティング		FUJITAYA			UNPLAN 神楽坂			
	③インバウンド ガイドコース	1	インバウンド接客 1	10/21 (土)	トゥルース	21	11/11 (土)	トゥルース	26		
		2	インバウンド接客 2		トゥルース			トゥルース			
		3	インバウンドガイド		近畿日本ツーリスト関西			近畿日本ツーリスト関西			
		4	ガイド業事例		インブリージョン			インブリージョン			
		5	日本文化体験ガイド		日本文化体験交流塾			日本文化体験交流塾			
							107				142

平成 29 年度 実績一覧 ― 就業体験 ―

インターンシップで希望する業界を体験する「就業体験」では、やまところキャリアインターンページから希望する就業先を選んで就業体験に取り組みます。今回の学習プログラムで学んだ成果を試し、自分の特性に適合するかを、実際の就業体験を通じて雇用者と被雇用者の立場から双方向で検証します。事前事後研修を神戸・大阪で開催し、体験結果をフィードバックしました。



事前研修（1 時間） 11：00～12：00				就業実習 27 時間以上（4 日程度）				事後研修（2 時間） 15：00～17：00			
神戸	10/28（土）	小野田金司／小槻文洋	10	→	希望する企業へ応募・就業体験（11 月～12 月） ・「インバウンドマネジャー（ツアー）〈民泊〉」コース ・「インバウンドガイド」コース	→					
東京	11/18（土）	宮澤理恵（株式会社やまところ）	15				神戸	1/6（土）	小野田金司	5	
							東京	1/13（土）	小野田金司	21	

受入れ先企業一覧

神戸		東京	
	旅行	株式会社インブリージョン	
大手旅行代理店の大阪着地型観光商品の開発運営のほか、観光プランニングなどを行う会社です。大阪で一番観光客がやってくる道頓堀。そんな道頓堀川を走っている観光遊覧船で、世界中からやってくる 10 万人以上の観光客の方を「大阪流エンターテイメント」で楽しませ、大阪のファンを作るクルーズです！TV など各種メディアにも取り上げられています。			
	宿泊	株式会社 Feel Japan	
「日本を感じる」をコンセプトに 2014 年にオープンした京都のゲストハウスです。ただ「泊まる」のではなく、ゲストにとって一生の思い出となる京都での滞在を、毎日心からおもてなしをしています。「日本に来ることが長年の夢だった。」「結婚 30 周年のお祝いの旅行に FUJITAYA を選びました。」等々、これまでにたくさんのゲストと、京都での思い出を作ってきました。			
	観光施設	六甲山観光株式会社	
訪日外国人（団体、FIT）にも数多く来場していただいている六甲山スノーパークにおいて、雪ソリやスキー用具の貸し出し業務及び、団体顧客の誘導、イベント補助業務を担当していただきます。			
	宿泊	湯の峯荘	
湯の峯荘は、関西 NO.1 と言われる良質の温泉と素材にこだわったおいしい料理を気楽に楽しんでもいただけるような楽しい旅館を目指しています。熊野の魅力を活かした当旅館では、海外からのお客様がここ 3 年で 10 倍と急激に増加しました。海外からのお客様に、本当の日本の魅力を楽しんでいただけるよう、若いスタッフの力を大切に考えています。			
	プロモーション	株式会社やまところ	
株式会社やまところは、2007 年に創業し、「日本のインバウンドを熱くする」をモットーに、日本全国のインバウンドビジネスに携わる企業・自治体の皆さま向けにインバウンドニュース・情報の発信、研修・セミナー、講師派遣、コンサルティング、人材マッチングなどのサービスをワンストップで提供しています。			

株式会社やまところ

2007 年に創業し、「日本のインバウンドをもっと熱くする」をモットーに、日本全国のインバウンドビジネスに携わる企業・自治体の皆さま向けにインバウンドニュース・情報の発信、研修・セミナー、講師派遣、コンサルティング、人材マッチングなどのサービスをワンストップで提供しています。中でも、「人材力」こそが今後の日本のインバウンド発展を左右すると考えており、インバウンド人材に特化した求人サイト運営をはじめ、インバウンド人材育成、ネットワーク化に力を注いでいます。

本事業におきましては、実地研修の講師選定・アレンジ、東京会場でのフィールドワークのアレンジ、事務局運営を行いました。また、昨年同様、就業体験プログラムの受入先企業の開拓と受入サポートも実施いたしました。

人材マッチングの重要性

訪日外国人観光客の増加に伴い、インバウンドビジネスへの新規参入も増加している中、課題となっているのが人材の確保です。業界を広く見渡してみると、成功している企業には必ず良い人材がいます。インバウンドは従来型のビジネスとは異なり、海外マーケットのニーズを的確に捉え、情報発信していくことが必要であり、スピード感をもって事業を推進する人材の確保がビジネス成功のカギを握っています。企業が求める人材要件をおしなべて見ると、語学力、海外経験や外国人目線、マネージメント力、マーケティング力、そして熱意が挙げられます。これから業界の持続的な成長を支えていくためにも、人材マッチングがとても重要です。また、訪日観光客が地方へと足を延ばす機会が増すなかで、地方からの求人も増加しています。実際に、「やまところキャリア」を通じて、首都圏から地方の求人に応募し、地方移住に至ったケースもあるなど、人口減に悩む「地方創生」においても「インバウンド人材」がカギとなってくる時代が到来しているといえます。地方創生をめざす地域にとって、インバウンドの求心力で人材をマッチングすることが可能です。

やまところキャリア

「やまところキャリア」は、人材を募集したい日本全国のインバウンド関連企業とインバウンド業界で働きたい求職者を結び、日本初のインバウンド業界に特化した人材マッチングサイトとして 2014 年 6 月に開設。2018 年 1 月末現在、登録企業数 400 社超、登録会員数 11,000 名超に達し、日本最大のインバウンド人材マッチングサイトに急成長。多様な業種でのマッチング実績が多数あり、インバウンド業界の人材採用を強力にサポートしています。

インターン受入企業の確保

（関西エリア）

- ・株式会社インブリージョン
- ・株式会社 Feel Japan
- ・六甲山観光株式会社
- ・湯の峯荘

（関東エリア）

- ・一般社団法人ジャパンショッピングツーリズム協会
- ・True Japan Tour 株式会社
- ・BOJ 株式会社
- ・株式会社やまところ（自社）



インバウンド情報サイト「やまところ.jp」
<https://www.yamatogokoro.jp/>



平成 29 年度 事業実績報告

平成 29 年度、神戸山手インバウンドスクールはのべ受講者数 911 名、KPI 達成率は 364%となりました。

神戸会場は神戸山手大学にて、東京会場は三幸学園様と全日本情報学習振興協会様にご協力をいただき開催いたしました。8 月 19 日より 11 月 11 日まで、専門学習と実務学習のプログラムを実施しました。その後、特に関心の高かった業法改正の講義は、観光庁より神戸までお越しいただき、特別講演会を 12 月に開催しました。就業体験は、事前研修を 10 月 28 日に開催し、受講生が企業とマッチングを行い実施しました。約半年の間受講生の皆様は、熱心に履修いただきました。

e ラーニング受講生	327
神戸会場受講生	190
東京会場受講生	302
特別講演会	92
合計（延べ人数）	911
KPI 目標（延べ人数）	250
KPI 達成率（%）	364

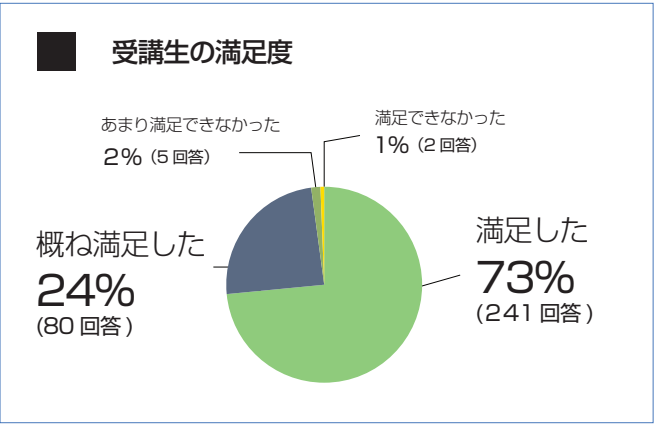
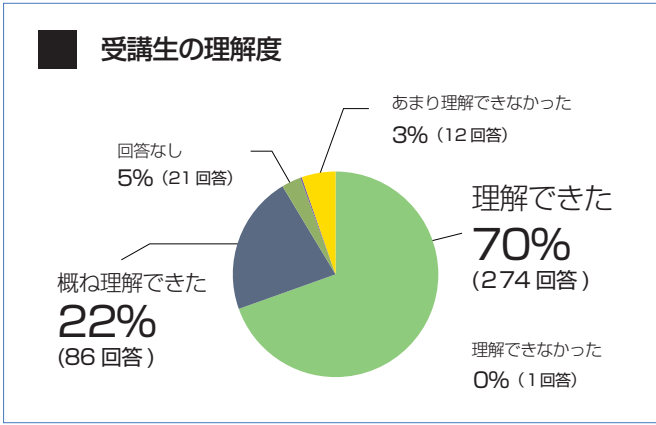
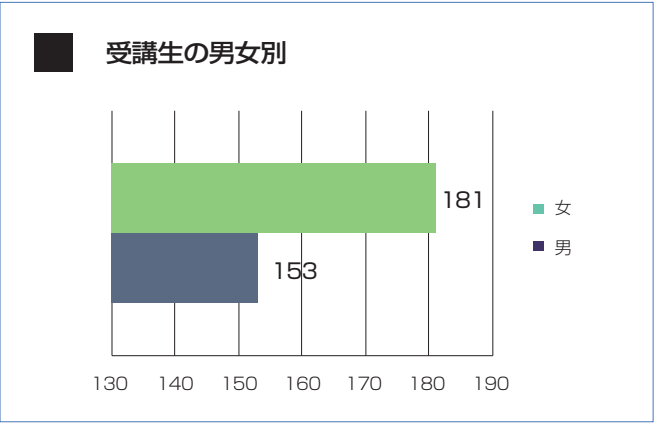
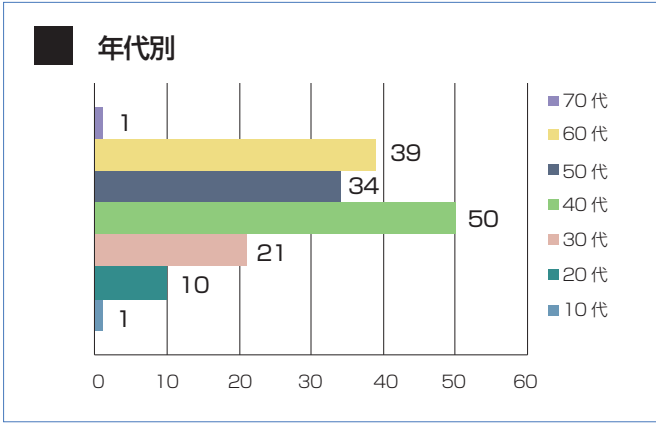
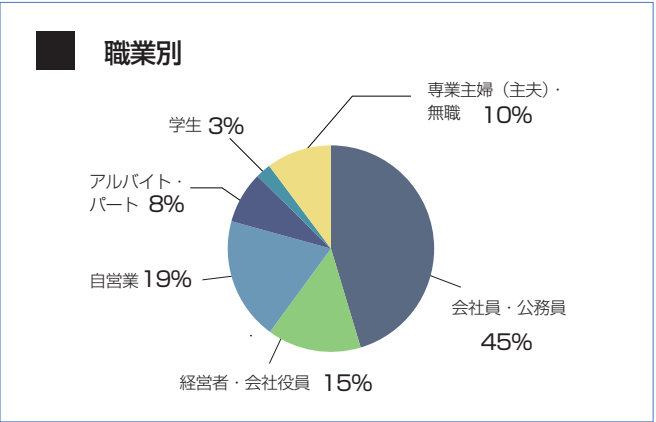
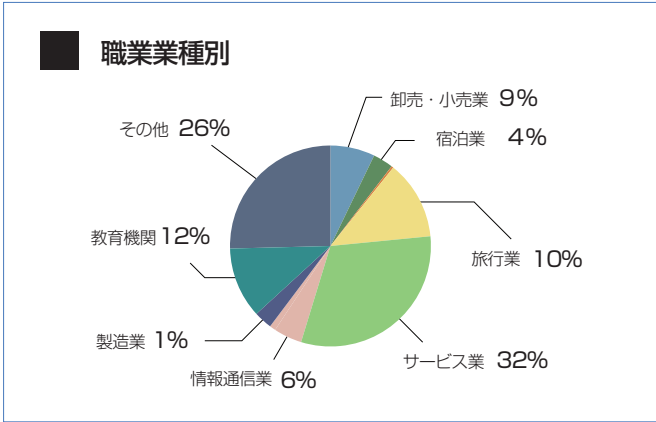
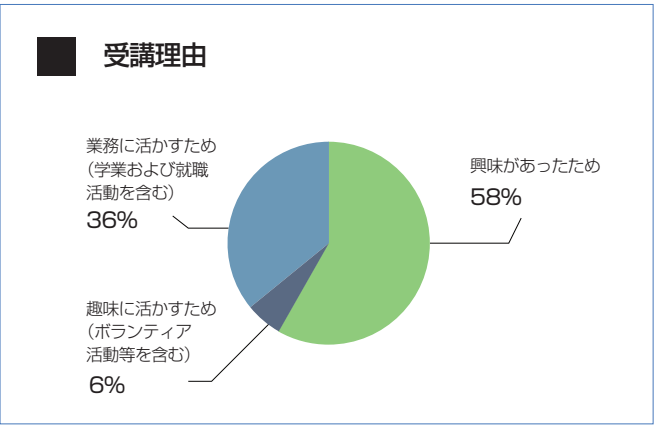
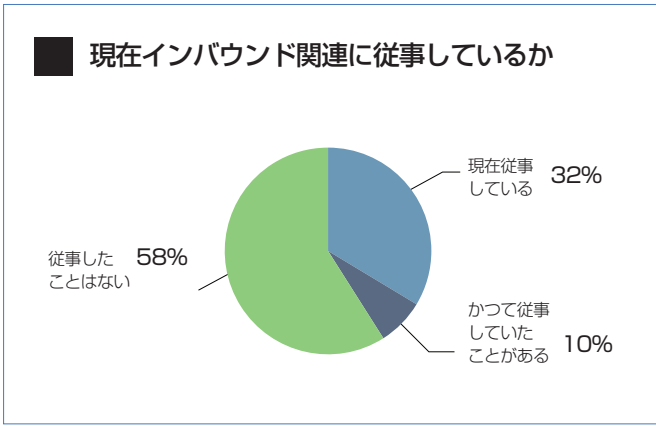
専門学習		計	神戸	東京
	①観光学概論	42	17	25
	②観光文化論	49	16	33
	③インバウンド論	51	17	34
	④観光マーケティング論	50	18	32

実務学習		計	神戸	東京
	①フィールドワーク 1	29	大阪 7 / 京都 7	15
	①フィールドワーク 2	41	大阪 9 / 奈良 3	14 / 補講 15
	②インバウンドビジネス業界入門	45	21	24
	コース別技能講座 ③インバウンドマネジャー（ツアー）	50	22	28
	コース別技能講座 ④インバウンドマネジャー（民泊）	37	17	20
	コース別技能講座 ⑤インバウンドガイド	47	21	26

就職体験		計	神戸	東京
	事前研修	15	10	5
	事後研修	36	15	21
特別講演会	業法改正の解説	92	92	

受講生アンケート

◆受講生述べ数（e ラーニング除く） 584 名
◆アンケート数 345 名分（項目によって未回答有）



講師アンケート

今回の講師は全部で32名（eラーニング除く）。このうち22名の方々よりアンケートの回答をいただきました。今回の講義はほとんど土曜日終日（9：15～18：15）で行いました。講義時間は大学と同様にほぼ90分授業。1日5コマの設定で実施しました。

講義の時間は少し長かったという意見もありましたが概ね適当だったようです。定員（40名）や会場についての問題もなく、受講生の学習意欲も高かったと回答を得ております。今後の改善については、「参加者を交えたディスカッション、ワークショップなどの時間が取れるとなお良い」「海外のインバウンドの事例紹介など、テーマを一層拡大してもよい」「実際に授業を受け、どう活かしたかをフィードバックする機会があれば、より良い」「内容の重複を避けるため、講師間で何を教えたかがわかるようにしたい」等の意見を頂戴しております。

講師一覧表



神戸山手大学教授
小野田 金司



神戸山手大学教授
小磯 学



新潟経営大学教授
小畑 博正



神戸山手大学講師
大島 知典



神戸山手大学客員教授
森山 正



追手門学院大学教授
福本 健太



新潟経営大学観光経営学部教授
近藤 政幸



神戸夙川学院大学名誉教授
岡本 義温



観光庁観光資源課課長補佐
太田 雄也 氏



KNT-CT ホールディングス
株式会社
富澤 美津男



hotel & MICE
藤原 弘一



株式会社インテージ
片岡 究



一般社団法人ジャパンショッ
ピングツーリズム協会
神郡 慶子



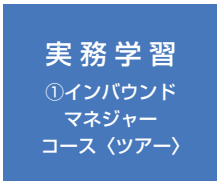
株式会社有隣
犬飼 拓



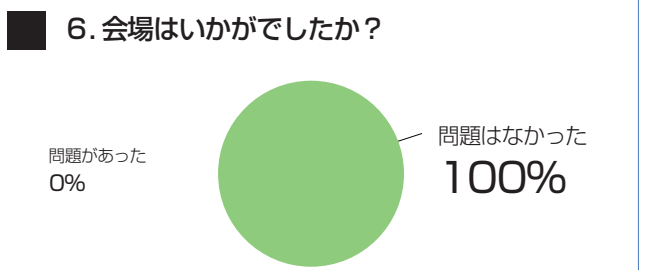
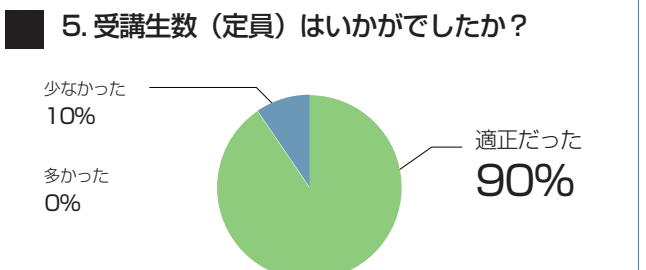
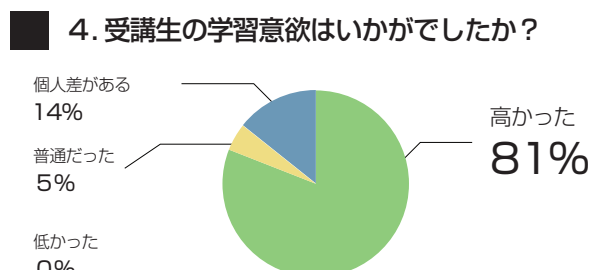
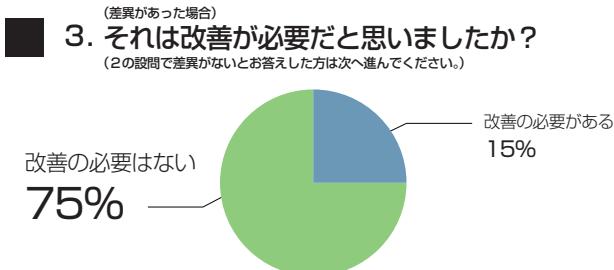
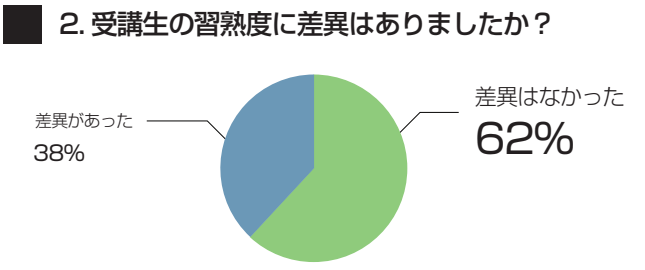
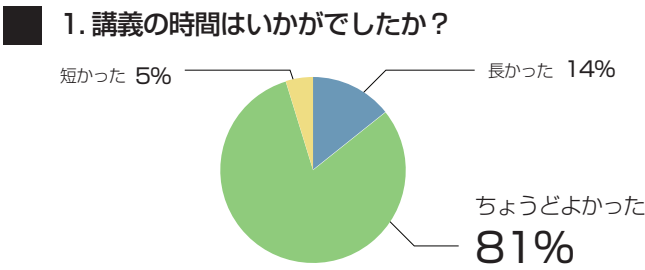
一般社団法人ジャパンショッ
ピングツーリズム協会
篠原 卓



株式会社ちいおりアライアンス
井澤 一清



株式会社やまところ
中澤 龍



株式会社地球の歩き方T&E
万浪 靖司



エクスポート・ジャパン
株式会社
高倉 佑介



株式会社 BEYOND
道越 万由子



株式会社アンカーリング
ジャパン
中村 圭一郎



株式会社ティ・エ・エス
平世 将夫



株式会社バンナ
中村 博充



株式会社バンナ
加藤 遼



株式会社百戦錬磨
羽毛田 恒佑



株式会社 Feel Japan
藤田 勝光



UNPLAN 神楽坂
福山 大樹



株式会社トゥルース
石井 由美子／水上 真知子



株式会社近畿日本ツーリスト関西
諏訪 芳美



株式会社インブリージョン
オダギリサトシ



NPO 日本文化体験交流塾
菊池 くに子

事業報告会－観光立国フォーラム in 神戸 2018－

2月14日神戸芸術ホールにて、事業報告会として観光立国フォーラム in 神戸 2018を開催しました。約90名の方々が参加、第1部では神戸山手インバウンドスクール事業報告を小野田金司より行いました。実証講義のまとめ、受講生評価アンケート分析などを報告いたしました。また履修証明証の授与式を行い、神戸会場で120時間を履修された瀬戸淳子様に履修証明証を神戸山手大学、井内善臣学長より授与いたしました。第2部では、平成30年1月に神戸山手大学に客員教授として就任した観光プロデューサーの江藤誠晃氏（株式会社BUZZPORT 代表取締役社長）より、「逆説の日本インバウンド観光学」と題して基調講演を行いました。第3部では来場者と講師陣、受講生などが参加し、インバウンド観光客に人気のエンタテインメントとして「和楽器集団「東」、株式会社神戸物産」のハラールフードを試食しながら交流を深めました。

プログラム

第1部 (13:30-)

- ・神戸山手インバウンドスクール事業報告
- ・履修証明証授与式



小野田金司 オダギリサトシ氏

- ・事業報告（小野田金司）
- ・講師代表講評（オダギリサトシ氏）

第2部 (14:20-15:40)

- ・基調講演 江藤誠晃氏

「逆説の日本インバウンド観光学～観光プロデューサーが語る訪日観光ビジネスの課題と可能性～」

民泊やライドシェアに代表されるシェアリングエコノミー分野のグローバル企業上陸があたかも「黒船」のごとき驚異として捉えられ、その是非を巡って激しい議論が交わされてきたここ数年は観光・旅行業界における「攘夷」から「開国」へとステージが移った1世紀半前の明治維新のごとき変遷期だったといえます。ようやく各種法整備も進み、多様なサービスの登場と展開が本格化する2018年は日本における「観光立国元年」。この歴史的分岐点に開港150周年を経た神戸市が担うべき役割りとは何か？かつて港町として日本の近代化を牽引した神戸は再び観光立国のリーディングシティとなりうるのか？

全国各地、世界各国の観光マーケティング事業に携わってきた神戸出身のプロデューサー江藤誠晃がユニークな切り口でインバウンド観光の課題と可能性を語ります。



江藤誠晃氏

観光マーケティング分野におけるプロデューサーとして国内外各地の観光事業や地域活性化事業に携わる。

活動領域は地域ブランディングからメディアプロデュースまで幅広く、旅行作家としても各種作品をリリース。観光立国・地方創生に資する戦略&戦術構想組織としてDMLab（デスティネーションマーケティングラボ）を立ち上げ、東京と神戸の二拠点で活動。



第3部 (16:00-)

- ・インバウンド大交流会
- 演奏：和楽器集団 東
- ハラールフード試食
- 協力：業務スーパー（(株) 神戸物産）



村山力氏



和楽器集団東（交流会演奏）

- ・スピーチ（村山力）
- ・演奏（和楽器集団東）

受講生の声



インバウンドを
様々な観点から学びました

神戸受講生 丸山洋子さん

インバウンド関連の業務経験はありましたが、もう少し幅広く学んでみたいと考えていた時に本講座の存在を知り、すぐに申し込みました。ユニークな経歴の講師の方々の講義は大変興味深く毎週受講日が待ち遠しかったです。わかりづらかった部分やもう少し理解を深めたい講座はオンラインですぐに確認でき、大変便利でした。また、4日間のインターンシップを、以前より興味を持っていたインブリージョン社で「とんぼりリパークルーズ」のガイド業務を体験させていただけたことは本当に貴重な経験でした。将来は訪日マレーシア人を対象にしたガイドの仕事ができればと考えているので、その第一歩として非常に有益で充実した内容の本講座を受講することができとても満足しています。

profile

新卒で青年海外協力隊に参加し、マレーシアの職業訓練校でお菓子作りの指導を行う。帰国後は大阪観光局をはじめ通算約8年間観光業界に従事。現在は国際交流基金主催の「日本語パートナーズ」というプログラムでマレーシアスランゴール州にて活動中。



安心して訪れることが
できる観光立国へ

東京受講生 中園希さん

はじめに、インバウンド事業を学ぶきっかけを頂けたこと、講師として来てくださった方々に感謝申し上げます。通訳案内士を目指しており、この業界についてもっと知りたいと思ったのが受講のきっかけでした。お恥ずかしながら受講前は「インバウンド＝観光」というイメージでしたが、可能性やニーズは多岐にわたるのだと感じました。インバウンドの最前線で活躍されている講師の方々の生の声をお聞きでき、とても有意義な時間を過ごさせていただきました。

ご縁があり、現在はハラールビジネスを推進する企業に勤めています。通訳案内士を目指す立場として日本の魅力を発信したい思いがありつつ、受け入れ体制を整えることも大事だと講座を通して学びました。今後は、ムスリムの方が安心して日本を訪れることができるよう、基礎づくりをしっかりとまいりたいと考えております。

profile

タケックス株式会社 ハラル事業本部 チーフアシスタント
自社製品でマレーシア政府のハラール認証機関である JAKIM から直接のハラール認証を取得したことから、その経験をビジネスモデルとしてハラールコーチングを展開予定。マレーシア政府機関とのパイプを持ち、その傘下の大学と協業でハラールコーチングを推進する。



インバウンドと自分の
つながりを知るために
学んだスクール

神戸受講生 瀬戸淳子さん

何か新しいことを始めたければ、その時直ぐに挑戦できる自分でありたいと、いつの日か心掛けるようになりました。そして今回出会ったのがこのスクールです。

観光学専門の教授陣、業界の実務家、講義内容も先生方の個性も素晴らしく、本当に貴重な楽しい授業ばかりでした。就業体験では度胸試しにとガイドや仲居さんにも挑戦、自宅でもeラーニングで勉強することが出来ました。

私がゲストに常に心掛けてることは、世界中の人々に先入観なく相手に興味を持ち尊重する事です。海外で過去に受けた差別経験が活かされたと思います。

受講してインバウンドの歴史から未来の様々な可能性まで学ぶことが出来ました、これからは誰もが何処でも参加、活躍出来るインバウンド業界になると期待しております。

profile

ホームステイ受け入れ約25年、多くの留学生を受け入れ、彼らが家族や友人と再来日するケースも増え、毎回独自のツアーを組んで神戸ファンを増やしている。受け入れた留学生の家を訪れる事が殆どで、世界中の交流は続いている。カフェ経営の経験基に、現在は自宅でカフェメニュー教室とケータリング運営。



インバウンドスクールの
先に見えて来るもの

東京受講生 澄川雅弘さん

文科省委託事業である本スクールへの参加目的は、旅行・観光業界の「中核人材」にならんと考え、基礎知識、最新情報、応用・現場力を基礎・専門・実務学習及び就業体験を通じて得て、自らの事業開始に資する為でした。本業界に関わる私の動機は、「東アジアの平和と安定を繁栄の中で実現する」と言う若き日よりの志・想いに基づいており、就中歴史問題を抱える中国語圏と朝鮮半島の人々との草の根交流に依る相互理解推進には、非日常・異日常を提供し感動を覚えて貰える旅行が最適だとの考えに至った点にあります。今回の受講過程に於いて、多様性に富んだ講師の方々から学び得たものは非常に多く、また、現場で活躍されている方々からの示唆に富んだ話もとても有益でした。知り合えた受講生仲間も宝物となり、講師の方々を含めて今後の本業界の発展の為に共に尽くして行きたいと言う思いを強くしました。有難うございました。

profile

元総合商社勤務。学生時代に AIESEC の Internship 事業で香港研修、商社時代に台湾留学、北京勤務、台北勤務、広州郊外合併企業経営等の経験有り。渤海湾での海洋工事、大連でのタワー建設等も。（資格：旅行業務取扱管理者、通訳案内士、甲質流忍者検定認定者）

委員会実績

事業の実施体制

委員会は神戸 4 回、東京 1 回の合計 5 回開催いたしました。委員会は全体の事業を統括的に管理し、運営方針を決定する運営統括委員会、インバウンドビジネス企業の求人や人材要件調査分析を行う調査委員会、教育プログラムの検証と評価を行う評価委員会の 3 つの委員会により組織され実施されました。

日時	開催地	委員会名
7 月 10 日	神戸	第 1 回 合同委員会（神戸）
7 月 28 日	東京	第 1 回 合同委員会（東京）
9 月 21 日	神戸	第 2 回 運営統括委員会



日時	開催地	委員会名
10 月 19 日	神戸	第 2 回 調査委員会
1 月 11 日	神戸	第 3 回 運営統括委員会
1 月 20 日	神戸	第 2 回 評価委員会

委員一覧

運営統括委員

小野田 金司	神戸山手大学 教授
小槻 文洋	神戸山手大学 准教授
西村 典芳	神戸山手大学 教授
大島 智典	神戸山手大学 講師
田中 祥司	神戸山手大学 講師
小畑 力人	神戸山手大学 客員教授
森山 正	神戸山手大学 客員教授
岡本 義温	神戸夙川学院大学 名誉教授

評価委員

笹西 真理	（一社）日本マナー OJT インストラクター協会 代表理事
富澤 美津男	KNT-CT ホールディング（株）事業戦略統括部 地域事業部長
三田 周作	（株）近畿日本ツーリスト関西 代表取締役社長
打本 正己	（株）ジェイティービー西日本 神戸支店 執行役員・支店長
福本 賢太	追手門学院大学 教授
穴戸 学	横浜商科大学 教授
廣岡 裕一	和歌山大学 教授 / 関西観光教育コンソーシアム 事務局長
片山 明久	京都文教大学 准教授
鷲見 哲男	岡山理科大学 教授
中村 好明	（一社）日本インバウンド連合会 理事長 / 全国免税店協会 副会長
万浪 靖司	（株）地球の歩き方 T&E 代表取締役副社長
福井 善朗	（一社）山陰インバウンド機構 代表理事
小林 司郎	学校法人神戸学園 理事
渡辺 真二	YOKOSO みなとまち神戸コンソーシアム 代表

調査委員

笹西 真理	（一社）日本マナー OJT インストラクター協会 代表理事
富澤 美津男	KNT-CT ホールディング（株）事業戦略統括部 地域事業部長
藤田 勝光	（株）Feel Japan 代表取締役 CEO
矢野 悦史	湯の峯荘 代表取締役社長
オダギリサトシ	（株）インブリージョン 代表取締役社長
野田 英明	六甲山観光（株）部長
山崎 真吾	ルミナスクルーズ（株）営業部 係長
諏訪 芳美	KNT-CT ホールディングス 株式会社近畿日本ツーリスト関西 関西地域交流部
梅守 康之	（株）梅守本店 代表取締役
坂本 直子	（公社）ひょうごツーリズム協会 専務理事
小泉 外茂男	（財）神戸国際観光コンベンション協会 常務理事
加藤 遼	（株）パソナ ソーシャルイノベーション部 副部長
角倉 洋介	（一社）日本旅行業協会 関西事務局 事務局長
中内 仁	（一社）日本ホテル協会 理事 / 神戸ポートピアホテル 代表取締役社長
新津 研一	（一社）ショッピングツーリズム協会 専務理事 / （株）USP ジャパン 代表取締役社長
吉岡 敬泰	（一社）日本添乗サービス協会 副会長 / （株）ツーリストエキスパート 代表取締役社長
霜田 正明	クラブツーリズム（株）販売促進部 取締役
江藤 誠晃	（株）BUZZPORT 代表取締役
林 岳則	（株）JTB グローバルマーケティング&トラベル 地域誘客戦略推進室 営業担当課長
村山 力	神戸・元町インバウンド協議会
足立 秀雄	KNT-CT ホールディング（株）訪日旅行部 顧問

委員の声



profile

長崎市出身、1980 年近畿日本ツーリスト㈱に入社。国内旅行部、クラブツーリズムにて地域活性化事業に取り組み、地域振興部を設立。2007 年角川マーケティングと共同出資による㈱ティール・ゲートの立ち上げに参加。2012 年神戸夙川学院大学客員教授、2013 年神奈川県観光担当課長を経て現職。

観光消費はいきなり大きなビジネスモデルをつくることより、人材育成からスタートすることが大切

（評価委員）福井 善朗 氏

一般社団法人 山陰インバウンド機構 代表理事

インバウンドによる観光消費額が急増しています。昨年は 4 兆円と過去最高を記録しました。消費の対象は家電、貴金属、化粧品等の割合が多く、地方では提供できる店は限られています。地方にやってくる外国人観光客は今後着実に増えてくると思いますが、合わせて観光消費額を上げていく為には地方ならではの「観光商品」の開発が急務です。一方、開発に取り組む人材は圧倒的に不足しています。顕在ニーズがある東京や大阪等の首都圏以外を除けば地方には元々人口が少なくイノベーターは育ちづらい。山陰インバウンド機構は昨年から主催のインバウンドスクールを始めました。東西 350 キロの広大なエリアから「やる気のある人」を探すことからスタート、先日スクールの受講生による公開でのコンテストを実施しました。いずれもユニークな作品で今後の期待は高いです。人材育成はじっくりやるしかないと思います。



profile

神戸市出身、1988 年伊藤忠商事㈱入社、2005 年アルキカタ・ドット・コム代表取締役社長
オーストラリアのベンチャー企業の育成でも活躍、2008 年内外航空サービス㈱執行役員、2012 年名鉄観光サービス㈱経営企画部部長を経て現職。アジア Top 大学とのパートナー契約やアジア企業の開拓に尽力している。

インバウンドビジネスと地方創生

（評価委員）万浪 靖司 氏

株式会社地球の歩き方 T&E 代表取締役副社長

この度は、インバウンドスクールにて、アジアの親日家の皆様への Web プロモーションをテーマに講義をさせていただきましてありがとうございました。

さて、インバウンドビジネスはさらなる進化を遂げていくと考えます。そのためのポイントとして、各地方都市において訪日観光客の皆様を受け入れるにあたり、それぞれの国の方々の視点で企画、PRを行うことが重要と理解いたします。

そのためには、各地方都市での親日家外国人の方々がお仕事できる場の提供を基盤として構築し、それぞれの視点で地方創生に向けたプロジェクトを推進できる。そんなプラットフォーム作りが重要ではないかと考え、推進してまいりたいと思います。

受講生の熱意があれば日本のインバウンドは明るい！

（調査委員）オダギリサトシ 氏

株式会社インブリージョン 代表取締役社長

委員として、講師としてこの事業に関わりました。またフォーラム等にも参加して多くの受講生と交流をしました。そこで交流した受講生の皆さんはどなたも積極的であり、ポジティブであり、また熱意もたっぷりありました。

日本のインバウンドビジネスを盛り上げたい、日本の魅力をもってしてもらいたい、海外の方に喜んでいただきたい。受講生それぞれの想いはいろいろですが、皆さん一生懸命に受講され、講師としても学ぶことが多くありました。

毎週末に朝から夕方までたっぷりと講義があり、就業体験もあり、受講生にとって簡単なものではなかったと想像されますが、それらを乗り越えてもインバウンドビジネスを学ぼうという熱意から、日本のインバウンドビジネスの未来は明るくなるに違いないと感じました。

受講生の皆さん、お疲れ様でございました。これから一緒に日本を盛り上げていきましょう！

成果物一覧

神戸山手インバウンドスクールHP



やまとごころキャリア 連携ページ



神戸山手インバウンドスクール eラーニングシステム／eラーニング／確認問題



神戸山手インバウンドスクール パンフレット



特別講演会／中間報告会
チラシ



観光立国フォーラム
チラシ



ディスティネーション
マネジャー
養成課程テキスト



観光甲子園

全国高等学校観光選手権大会、愛称「観光甲子園」は、日本の高等学校生を参加対象とした、「地域の観光プラン」のコンテストです。地元の高校生が作り上げるオリジナルな企画を競い合います。

前身は全国観光プランコンテストとして、第1回（2009年）から第6回（2015年）までは、共催の神戸夙川学院大学を会場に決勝大会は開催され、第7回（2016年）は、神戸夙川学院大学が閉学になったため、追手門学院大学が共催となり、決勝大会は大阪府茨木市にて開催されました。

2017年より全国高等学校観光選手権大会と名称を変更し、神戸夙川学院大学の教育研究資産を継承した神戸山手大学が共催となり、神戸ハーバーホールにて開催しました。日本政府は観光を成長産業と位置付け訪日外国人旅行者（インバウンド）の目標を2020年に4000万人に引き上げ、訪問先の地方分散を図り、地方の活性化につなげようとしています。開港150周年を迎えた国際交流の玄関口「神戸市」から、高校生が世界へ向けてプレゼンテーション致します。

募集期間 2017年5月1日（月）～6月30日（金）
決勝大会 2017年8月24日 神戸ハーバーホール
応募高校数 全42校 84プラン

観光甲子園 2018

決勝大会 2018年8月23日（木）神戸ポートオアシス

募集期間・要項は3月中旬、神戸山手大学HPにて発表予定。



神戸山手大学 DMLab がスタートします

神戸山手大学の学校法人である神戸山手学園は、1924年（大正23年）「山手学習院」として、神戸市の中心元町より坂を上った諏訪山の麓の地域の人々と神戸市の教育者や経済人によって設立されました。その後、神戸山手高等女学校の設立（1926年）、1999年に神戸山手大学は開学、2015年4月に神戸夙川学院大学観光文化学部の教育研究資産を継承し、新たに観光文化学科を設立しました。

神戸市は横浜市と並んで日本で最初に外国人に開かれた港町として、多くの外国人旅行者に愛されています。大学の所在する神戸市中央区には、100か国以上、1万人を超える神戸を愛する外国人が居住しています。多くの宗教施設があり、異文化交流が進み、日本でも有数の外国人が暮らしやすい街と言えるでしょう。

観光がインバウンドで急成長し、従来の観光業である宿泊や交通に加え、様々な産業が市場を拡大する観光分野に参入しています。地方創生にも民泊などのシェアリングエコノミーが期待されています。加えて多くの金融機関が、新しい観光ビジネスで起業する資金の提供を目的とするファンドを設立しています。

このように日本の観光ビジネスが追い風の今、観光サービス事業領域のニュービジネスを担う人材が、日本のみならず世界から求められています。訪日外国人客6000万人時代に向けて、日本の大学生、外国人留学生そして社会人・シニアが、新しい日本の観光ビジネスのベンチャーに挑戦する絶好の機会です。神戸山手大学では、ここ数年の観光人材育成事業を産業界や行政と連携して推進していく「神戸山手DMLab」をスタートさせます。新しい観光事業を異業種の方々が集い、楽しいサロン形式で学ぶミーティング等を開催する予定です。観光庁の平成30年度「産学連携による観光産業の中核人材育成・強化事業」にも本学の「ディスティネーションマネジャー養成課程」が採択され、開講する予定です。ぜひ、皆様も講座に参加し、新しい観光ビジネスノウハウを学び、新規事業に挑戦しましょう。



神戸山手大学 履修証明プログラム 「ディスティネーションマネジャー養成課程」



本年度の神戸山手インバウンドスクール事業では、地域（DMO）や企業で求められる実践的専門的マネジメント能力を身につけた「インバウンドマネジャー」と 2020 年の東京オリンピック・パラリンピックや地域密着型のウォークツアーなどでニーズが高まる「インバウンドガイド」の養成と資格認定を目的とする本学の履修証明プログラムを実証しました。

教育プログラムは、基礎学習 30 時間、専門学習 30 時間、実務学習 30 時間、就業経験 30 時間、合計 120 時間の編成で実施し、一般受講生を受け入れ実施いたしました。

実証講義や各委員会の議論で、日本の観光振興、特に訪日外国人の誘致についてはインバウンドだけでなく、アウトバウンドも含めた双方向 = 「ツーウェイツーリズム」の観点で考える必要があるという意見を多くいただきました。また「地域創生を支える新たな観光ビジネスを生み出せる起業家や地域観光ビジネスをマネジメントできる人材」のニーズも徐々に明らかになりました。こうした意見やニーズを踏まえ、平成 30 年度の開講に向けて、そのような人材の育成を目指した新たな履修証明プログラム「ディスティネーションマネジャー養成課程」を開発しました。今後の地域観光を考えるうえで外国人のみならず国内旅行客の誘致も重要であることも踏まえて、「ディスティネーションマネジャー」という名称を採用しました。全体的な骨格を表す概念図は、以下の通りです。

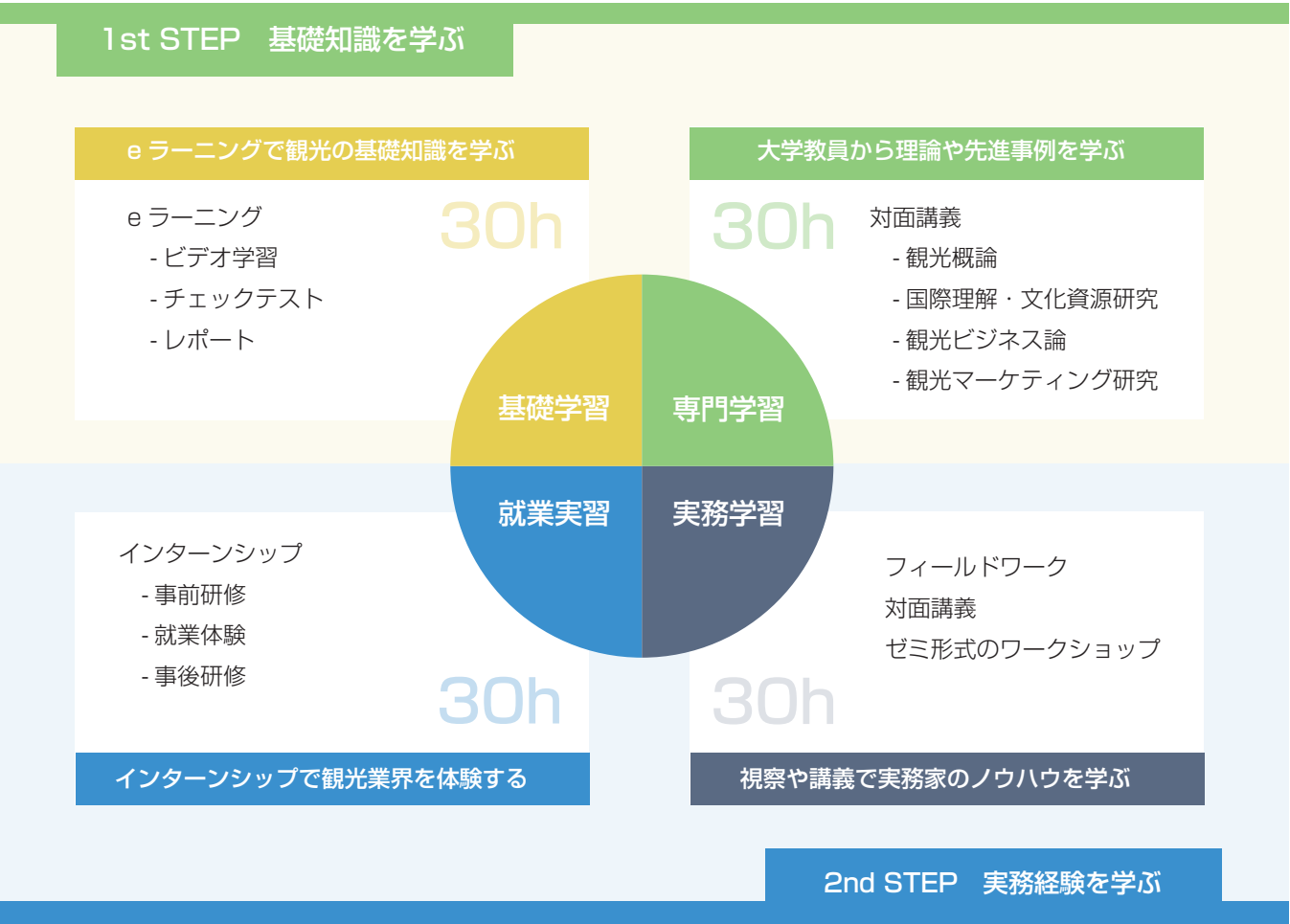
この養成課程の平成 30 年度開講講座は、文部科学省より 2018 年度職業実践力育成プログラム (Brush up Program (BP)) の認定を受けており、今後厚生労働省の教育訓練給付金制度への申請も検討しています。

今後とも引き続き、本学の観光人材育成事業にご支援賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

神戸山手大学 副学長 小野田金司



カリキュラム概念図



～訪日外国人 4000 万人時代に備えたインバウンド中核人材養成事業～ 「インバウンドを支える観光立国学び直しプログラム」事業報告書

発行日 2018 年 3 月 8 日
発行 神戸山手大学現代社会学部観光文化学科
〒650-0006
兵庫県神戸市中央区諏訪山町 3 番 1 号
TEL. 078-341-1615 FAX. 078-351-7172
監修 小野田金司
編集 村井一葉

平成 29 年度文部科学省委託「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」
※本誌の記事、写真、イラスト等の無断複製・転載を禁じます。